

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-163155 (P2020-163155A)

【公開日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2020-68699 (P2020-68699)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 28 日 (2021.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行するものであり、前記当り結果が導出される確率に関する設定情報が設定されることで遊技の進行が可能になる遊技機において、

当該遊技機の電源が投入されるときに第 1 の操作が行われる場合に、前記設定情報を設定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに第 2 の操作が行われる場合に、前記設定情報を確認可能な確認モードを発生させる確認モード発生手段と、

前記始動口に遊技球が入球することに基づいて、前記抽選に関する保留情報を記憶可能な保留情報記憶手段と、を備え、

当該遊技機の電源が投入されるときに前記第 1 の操作が行われた場合には、前記保留情報記憶手段に記憶されている保留情報が消去されるが、当該遊技機の電源が投入されるときに前記第 2 の操作が行われた場合には、前記保留情報記憶手段に記憶されている保留情報が消去されずに保持され、

さらに、前記設定モード中と前記確認モード中は、新たな保留情報を前記保留情報記憶手段が記憶しないものであり、

さらに、前記保留情報に対応する保留表示を行う演出表示部を有し、

前記演出表示部は、前記保留情報の有無に関わらず、前記確認モード中に前記保留表示を行わない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、パチンコ機等の遊技機として、遊技場管理者による設定変更操作によって、当り

確率等の設定状態を複数のいずれかに設定する遊技機が知られている。(例えば、特許文献1)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開平6-91049号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、設定情報を有する従来の遊技機については、不具合に対する対策に欠けるという問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行するものであり、前記当り結果が導出される確率に関する設定情報が設定されることで遊技の進行が可能になる遊技機において、

当該遊技機の電源が投入されるときに第1の操作が行われる場合に、前記設定情報を設定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに第2の操作が行われる場合に、前記設定情報を確認可能な確認モードを発生させる確認モード発生手段と、

前記始動口に遊技球が入球することに基づいて、前記抽選に関する保留情報を記憶可能な保留情報記憶手段と、を備え、

当該遊技機の電源が投入されるときに前記第1の操作が行われた場合には、前記保留情報記憶手段に記憶されている保留情報が消去されるが、当該遊技機の電源が投入されるときに前記第2の操作が行われた場合には、前記保留情報記憶手段に記憶されている保留情報が消去されずに保持され、

さらに、前記設定モードと前記確認モード中は、新たな保留情報を前記保留情報記憶手段が記憶しないものであり、

さらに、前記保留情報に対応する保留表示を行う演出表示部を有し、

前記演出表示部は、前記保留情報の有無に関わらず、前記確認モード中に前記保留表示を行わない

ことを特徴とする。